

<p>1. 川西市の重点方針</p> <p>元気でうるおいのあるオンリーワンのまちづくりを実現するため、第4次総合計画後期基本計画「笑顔・ときめき川西プラン」に掲げる次の3点に重点を置いて施策展開を図ります。 次代を担う子どもたちが健やかに育つ環境づくり 市民の笑顔と元気がみなぎるまちづくり 市民とともに築く未来に向けたまちづくり</p>	<p>2. 美化推進部のサービス対象者</p> <p>家庭系ごみ排出者 (サービス対象者の要求・期待) ・分別を分かりやすく ・早く決まった時間帯で収集してほしい ・戸別収集にしてほしい 事業系ごみ排出者 ・処理料金を安く ・収集許可業者に対する収集方法の指導 斎場利用者 ・遺族が心安らかに火葬が行なえる場所の提供</p>	<p>3. 美化推進部を取り巻く経営環境</p> <p>ごみ減量、リサイクルの啓発と助成事業の実施 ごみ収集の実施 衛生害虫の駆除等の防疫業務、火葬業務の実施 職場内ミーティングによる事業確認</p>
---	---	---

<p>4. 美化推進部がめざす姿</p> <p>ごみの発生が少ない、環境にやさしいまち 出されたごみが、適切に処理されるまち 市民が衛生的に暮らせるまち 安全で事故のない、協力しあえる職場 市民、事業者と一丸となってごみ問題に取り組んでいるまち</p>

5. 美化推進部の現状		
<p>(1)重要成功要因</p> <p>新分別区分の市民への定着及び実践 猪名川上流広域ごみ処理施設組合との連携 啓発事業の充実(市民及び事業者向け) 次期「一般廃棄物処理基本計画」の策定 斎場の適切な運営・管理</p>	<p>(2)経営上の強み</p> <p>組織がシンプルで、なおかつコミュニケーションが活発なことから、機動力が高く、課題への早い対応が可能である。 日々市民と接する中で要望・期待を把握している。 業務マニュアルや事故対応マニュアルにより適切な対応が図れるよう努めている。 苦情に対して、すぐに対応できる体制や機動性を確立している。 職務上の疑問点について、職員間で気軽に尋ねあう職場風土がある。</p>	<p>(3)経営上の課題</p> <p>市民の満足に向けて 市民実感調査等により市民意識を把握し、先進事例等の内容を掘り下げて、次期基本計画策定等に活用して改善につなげていく必要がある。 日々寄せられるごみ処理・リサイクルに関する様々な問い合わせに対して、わかりやすい丁寧な説明、迅速な対応に努める。</p> <p>組織体質の改善に向けて 所属長から職員への一方通行ではなく、職員満足度の把握や所属のありたい姿の浸透度の確認を行い、調査結果を基に改善する必要がある。</p>

6. 美化推進部の重点目標	
(1) 市民満足度の向上に向けて	<p>猪名川上流広域ごみ処理施設組合や関係事業者、地域団体等とのさらなる連携を図りながら新分別区分の定着に努める。 より信頼される職員となるため、制度に対する理解を深めるとともに、法令遵守、個人情報保護、職員倫理等コンプライアンスを徹底する。</p>
(2) 組織体質の改善に向けて	<p>組織内の横断的な連携を強化する。 あらゆる職員の意見や提案を聞きながら、組織目標の共有化を図る。</p>

7. 美化推進部の目標							
指 標		H19実績	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24末目標
施策評価指標	1人1日あたりごみ排出量	1,008g	978g	933g	928g	未	934g
	1人1日あたりの可燃ごみ排出量	733g	716g	636g	634g	未	652g
	ごみリサイクル率	24.1%	24.0%	25.7%	25.2%	未	25.0%
	ごみ収集、処分に対する満足度	73.9%	77.1%	76.2%	81.1%	未	80.0%
市民満足向上目標	ごみ学習会参加者数	2,703人	2,150人	2,345人	1,530人	1,321人	
	部内会議、作業長・班長ミーティング等の実施回数						30回